

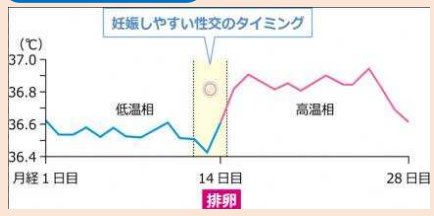
# 不妊治療の保険適用

# 不妊治療の診療の流れと保険適用の範囲 (令和4年4月以降)

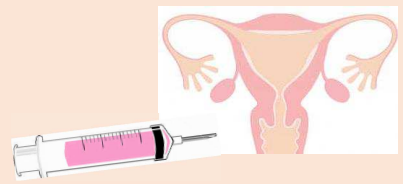
一般不妊治療

【新たに保険適用】

**タイミング法** ※管理料で包括評価



**人工授精** ※評価を新設



＜「生殖補助医療」の補足＞

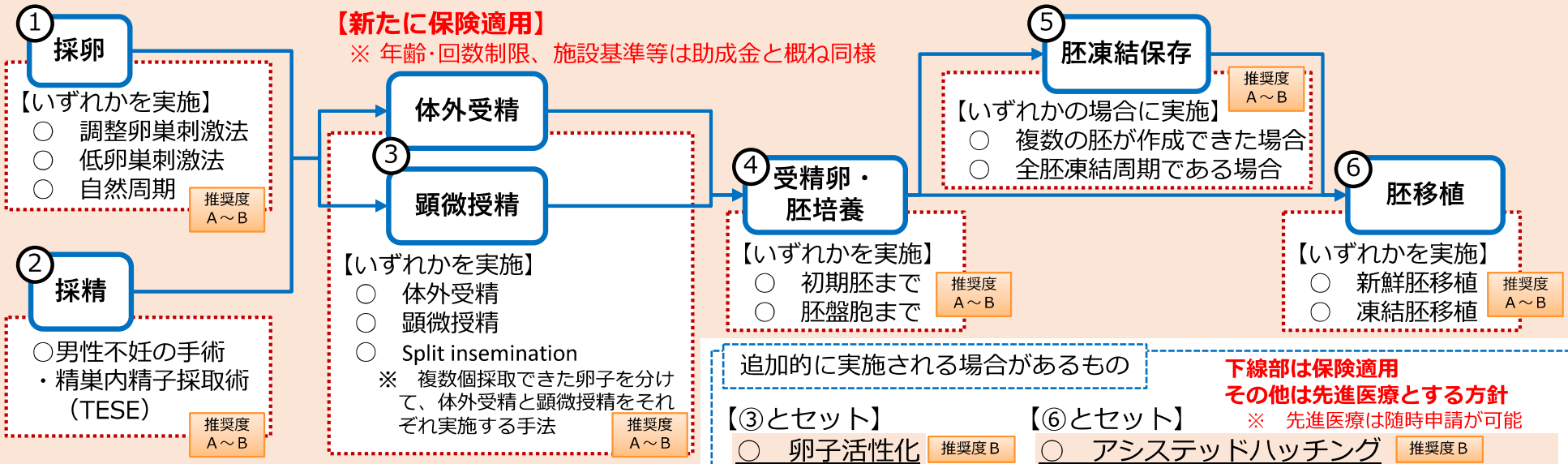
- 下記診療の流れは、生殖医療ガイドラインに記載されている医療技術等について整理したもの。
- 推奨度ごとの考え方は、以下のとおり。

**推奨度A：実施を強く推奨**  
**推奨度B：実施を推奨**  
**推奨度C：実施を考慮**

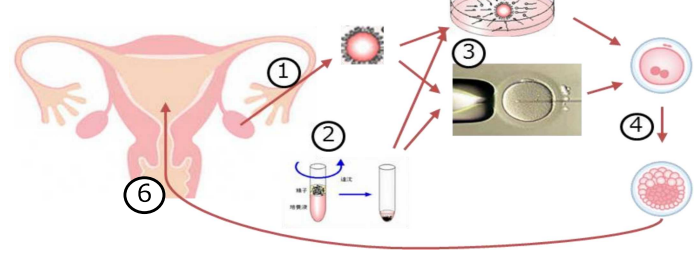
生殖補助医療

【新たに保険適用】

※年齢・回数制限、施設基準等は助成金と概ね同様



生殖補助医療のイメージ図



- 追加的に実施される場合があるもの
- 【③とセット】**
- 卵子活性化 推奨度 B
  - IMSI 推奨度 C
  - PICSI 推奨度 C
- 【④とセット】**
- タイムラプス 推奨度 C
- 【⑥とセット】**
- アシステッドハッチング 推奨度 B
  - 高濃度ヒアルロン酸含有培養液 推奨度 B
  - 子宮内膜受容能検査 推奨度 C
  - 子宮内細菌叢検査 推奨度 C
  - SEET法 推奨度 C
  - 子宮内膜スクラッチ 推奨度 C
  - PGT 推奨度 B
  - 反復着床不全に対する投薬 推奨度 C
- 下線部は保険適用  
 その他は先進医療とする方針**  
 ※ 先進医療は随時申請が可能

# 不妊治療の診療の流れと診療報酬点数 (令和4年4月以降)

一般不妊治療

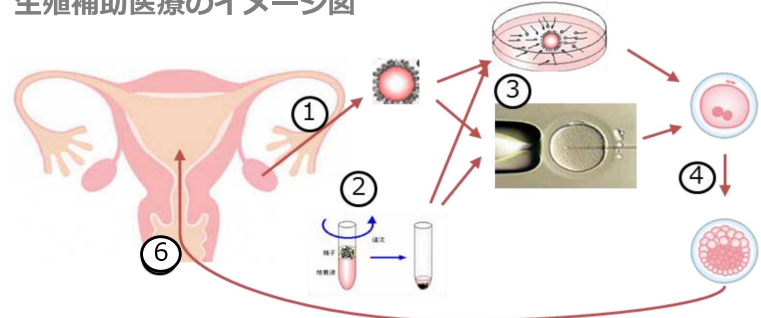
**タイミング法**

一般不妊治療管理料  
○ 250点 (3月に1回)

**人工授精**

人工授精  
○ 1,820点

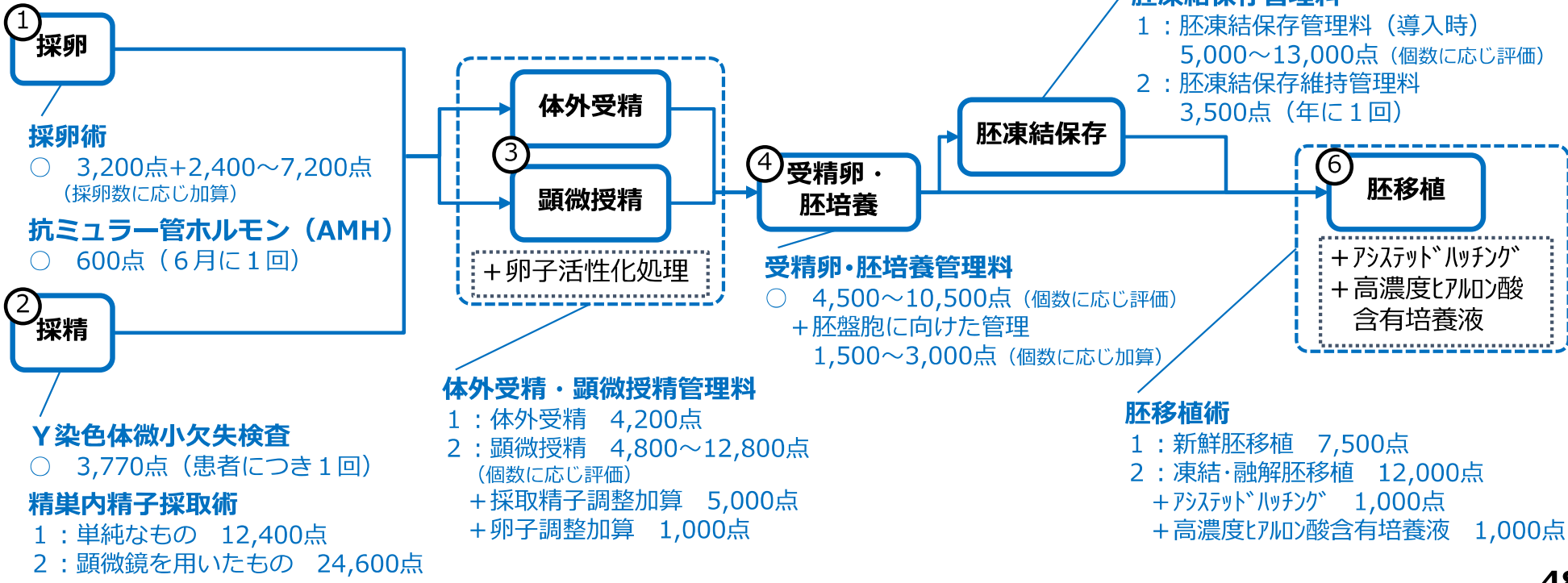
生殖補助医療のイメージ図



生殖補助医療

**生殖補助医療管理料 (月に1回)**

- 1 : 300点 (相談対応の専任者を配置)
- 2 : 250点 (上記以外)



# 不妊治療の保険適用

➤ 子どもを持ちたいという方々に対して有効で安全な不妊治療を提供する観点から、以下のとおり、不妊治療に係る医療技術等の評価を新設する。

## 一般不妊治療に係る評価の新設

(一般不妊治療に係る医療技術等の評価)

- 一般不妊治療管理料
- 人工授精

## 生殖補助医療に係る評価の新設

(生殖補助医療に係る医療技術等の評価)

- 生殖補助医療管理料
- 採卵術
- 抗ミュラー管ホルモン (AMH)
- 体外受精・顕微授精管理料
  - 卵子調整加算
- 受精卵・胚培養管理料
- 胚凍結保存管理料
- 胚移植術
  - アシステッドハッチング
  - 高濃度ヒアルロン酸含有培養液を用いた前処置

(男性不妊治療に係る医療技術等の評価)

- Y染色体微小欠失検査
- 精巣内精子採取術

